

感染症学 I

Infectious Disease I

単位数：5 単位

○吉山裕規 教授：微生物学
熊倉俊一 教授：地域医療教育学
磯部 威 教授：呼吸器・臨床腫瘍学
佐野千晶 准教授：地域医療支援学

1. 科目の教育方針

易感染性宿主の増加や薬剤耐性病原微生物の増加に伴い、感染症の劇症化や難治化が進行している。感染症を種々の病原微生物の病原因子と宿主側の防御バリアーとの攻防という視点で捉える。即ち、感染症に対する宿主の生体反応と感染抵抗性を統合的に考え、理解し、把握することを主な履修目標とする。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 病原微生物とヒトの宿主・寄生体相互関係を、感染免疫学・分子生物学的な視点から理解する。
- 2) 感染症の予防・診断・治療に関連した最新の知見を、生体防御論的な視点から理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 主な病原微生物の病原因子の作用メカニズムと病原因子に対する生体反応について説明出来る。
- 2) 主な病原微生物に対する宿主感染抵抗性の発現メカニズムについて説明出来る。
- 3) 感染症の診察、検査法、予防の基本原則について説明出来る。
- 4) 感染症治療薬の概要と臓器別の治療指針について説明出来る。
- 5) 局所感染症の特異性と生体防御メカニズムについて説明出来る。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

4. 成績評価の方法

講義のテーマごと、および演習のテーマごとのレポートの評価、セミナーへの出席による。

5. 使用テキスト・参考文献

- 1) ブラック微生物学 3 版 神谷 茂, 高橋秀実, 林 英生, 俣野哲朗 監訳 (丸善出版)
- 2) 病原微生物学 荒川宜親, 神谷 茂, 柳 雄介 編 (東京化学同人)
- 3) Principles of Virology 4th ed. Flint J, Racaniello VR, Rall GF, Skalka AM, Enquist LW. (ASM Press)
- 4) レジデントのための感染症診療マニュアル 3 版 青木真 編 (医学書院)
- 5) 感染症レジデントマニュアル 2 版 藤本卓司 編 (医学書院)

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	人類と感染症の歴史	熊倉俊一
2	病原因子 1. 細菌の病原因子の生体への作用メカニズム	佐野千晶
3	病原因子 2. ウイルスの病原因子の生体への作用メカニズム	吉山裕規
4	細胞内寄生菌による感染症の成立メカニズム	佐野千晶
5	感染症と免疫（自然免疫と獲得免疫）	熊倉俊一
6	ウイルスの急性感染と潜伏持続感染	吉山裕規
7	耳・鼻腔・上気道の免疫機構	佐野千晶
8	感染症に伴う免疫制御機構の破綻	熊倉俊一
9	院内感染制御	熊倉俊一
10	呼吸器感染症	磯部 威
11	抗酸菌症の臨床的話題	磯部 威
12	演習 ウイルスの増殖と感染細胞の組織変化	吉山裕規
13	演習 抗菌薬のPK/PDについて	磯部 威
14	演習 感染症制御のためのサーベイランス	熊倉俊一
15	演習 上気道感染症診療の理論と実践	佐野千晶